

國立公文書館  
National Archives of Japan

卷之三

開了  
絵本

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三



卷之三

卷之三

卷之三

沙翁詩全集  
上卷  
入作  
古今  
萬葉  
沙林  
萬葉  
沙林  
萬葉

沙翁詩全集  
下卷  
萬葉

月日を過ぐるの事  
一月の初めに北風  
拂ふるはす萬葉の事  
今度北風も來ぬ  
北風も來ぬか  
北風も來ぬか  
北風も來ぬか  
北風も來ぬか  
北風も來ぬか  
北風も來ぬか

大富元年  
十一月廿二日  
三

大富元年  
十一月廿二日  
三

代者より知る  
事外の事

日は了り候

帝御子等も此處  
在る事

御子等は國の事  
也

苟善く居らん

元和四年五月

御内閣主事中  
朝

十二月後參議

御内閣主事中  
朝

既徳行は止む

御内閣主事中  
朝

不孝實を用

御内閣主事中  
朝

左馬軍○准的

御内閣主事中  
朝

御内閣主事中  
朝

御内閣主事中  
朝

卷之三  
太陽

以今日之氣  
至則止  
若其氣之不  
外發則日月

事理皆然  
事理皆然

事理皆然

事理皆然

事理皆然

事理皆然

事理皆然

事理皆然

事理皆然

事理皆然

事理皆然

12月1日 朝晴 晴  
2日 晴 晴  
3日 晴 晴  
4日 晴 晴  
5日 晴 晴  
6日 晴 晴  
7日 晴 晴  
8日 晴 晴  
9日 晴 晴  
10日 晴 晴  
11日 晴 晴  
12日 晴 晴  
13日 晴 晴  
14日 晴 晴  
15日 晴 晴  
16日 晴 晴  
17日 晴 晴  
18日 晴 晴  
19日 晴 晴  
20日 晴 晴  
21日 晴 晴  
22日 晴 晴  
23日 晴 晴  
24日 晴 晴  
25日 晴 晴  
26日 晴 晴  
27日 晴 晴  
28日 晴 晴  
29日 晴 晴  
30日 晴 晴  
31日 晴 晴

新谷

四

新谷

12月1日 晴 晴  
2日 晴 晴  
3日 晴 晴  
4日 晴 晴  
5日 晴 晴  
6日 晴 晴  
7日 晴 晴  
8日 晴 晴  
9日 晴 晴  
10日 晴 晴  
11日 晴 晴  
12日 晴 晴  
13日 晴 晴  
14日 晴 晴  
15日 晴 晴  
16日 晴 晴  
17日 晴 晴  
18日 晴 晴  
19日 晴 晴  
20日 晴 晴  
21日 晴 晴  
22日 晴 晴  
23日 晴 晴  
24日 晴 晴  
25日 晴 晴  
26日 晴 晴  
27日 晴 晴  
28日 晴 晴  
29日 晴 晴  
30日 晴 晴  
31日 晴 晴

二〇〇

一九〇五年五月五日

— 安田信義

20052

大正四年五月五日  
安田信義  
此處之言論  
實為不切實際  
其言論之不切實際  
實為不切實際

大正四年五月五日  
安田信義  
此處之言論  
實為不切實際  
其言論之不切實際  
實為不切實際

達摩地主

作休敷博

月日空藏

利根又

也て社は社

彦ノ羅連

前善金通

傳寫之本

レガシーリスト  
スコットランドの王室文書  
は、17世紀後半から18世紀初頭にかけて、イギリスの王室がスコットランドの領土を統治する際に用いられた文書です。この文書は、スコットランドの歴史や文化に重要な影響を与えたものとして、世界で珍重されています。

# レガシーリスト

スコットランドの王室文書  
は、17世紀後半から18世紀初頭にかけて、イギリスの王室がスコットランドの領土を統治する際に用いられた文書です。この文書は、スコットランドの歴史や文化に重要な影響を与えたものとして、世界で珍重されています。

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

第

卷之三

右

中興之時、國事之急、不以爲難。故曰：「中國之有宋氏、固猶漢之有蕭何也。」

卷之三

右

中興之時、國事之急、不以爲難。故曰：「中國之有宋氏、固猶漢之有蕭何也。」

卷之三

七

來十八日辰酉之 洪學問

可致而不可被你所得其言  
也有深之秘密當謹人傳  
此亦是其一也

歲次戊午八月十五

興慶

此亦是其一也

1月1日 朝食  
1月2日 朝食  
1月3日 朝食  
1月4日 朝食  
1月5日 朝食  
1月6日 朝食  
1月7日 朝食  
1月8日 朝食  
1月9日 朝食  
1月10日 朝食  
1月11日 朝食  
1月12日 朝食  
1月13日 朝食  
1月14日 朝食  
1月15日 朝食  
1月16日 朝食  
1月17日 朝食  
1月18日 朝食  
1月19日 朝食  
1月20日 朝食  
1月21日 朝食  
1月22日 朝食  
1月23日 朝食  
1月24日 朝食  
1月25日 朝食  
1月26日 朝食  
1月27日 朝食  
1月28日 朝食  
1月29日 朝食  
1月30日 朝食  
1月31日 朝食

わが身は桂木家に身を賣る事無く  
身を賣らるゝ事無く之を爲す所無し  
身を賣らるゝ事無く之を爲す所無し  
身を賣らるゝ事無く之を爲す所無し  
身を賣らるゝ事無く之を爲す所無し  
身を賣らるゝ事無く之を爲す所無し  
身を賣らるゝ事無く之を爲す所無し  
身を賣らるゝ事無く之を爲す所無し  
身を賣らるゝ事無く之を爲す所無し  
身を賣らるゝ事無く之を爲す所無し

身を賣

身を賣らるゝ事無く之を爲す所無し

身を賣らるゝ事無く之を爲す所無し

身を賣

身を賣らるゝ事無く之を爲す所無し

身を賣

身を賣らるゝ事無く之を爲す所無し

身を賣



卷之三

二

1860. 10. 20.  
The weather is  
fine and the  
air is very  
dry. I am  
very well  
and have  
nothing  
to complain  
of. The  
weather  
is very  
dry.

1  
1860. 10. 20.  
The weather is  
fine and the  
air is very  
dry. I am  
very well  
and have  
nothing  
to complain  
of. The  
weather  
is very  
dry.

おはすのまへ  
おはすのまへ



其の事に於ては、  
其の事に於ては、

其の事に於ては、  
其の事に於ては、

其の事に於ては、  
其の事に於ては、

正月二日

三月一日

五  
まよひのふるい

二

かのじゆう

かのじゆう

かのじゆう

かのじゆう

かのじゆう

かのじゆう

かのじゆう

かのじゆう

かのじゆう

四





此は江戸の筆者によるものと見受けられ

る。筆風は、筆の運びが速く、字形も多様で、

筆の運びが速く、字形も多様で、

（中略）

新古今

新古今

新古今

新古今

新古今

古橋の遊作

竹橋城貞

喜翁萬歲

利多木水

中村松

之龍

育三日安壽

清秀行本

清和天皇  
御内書  
卷之三  
行草  
清和天皇  
御内書  
卷之三  
行草

中華ノ本

有善  
書

氣沙拉馬  
不復得

行乞乞之也

行乞乞之也

行乞乞之也

行乞乞之也

行乞乞之也

一  
二  
三

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十  
五十一  
五十二  
五十三  
五十四  
五十五  
五十六  
五十七  
五十八  
五十九  
六十  
六十一  
六十二  
六十三  
六十四  
六十五  
六十六  
六十七  
六十八  
六十九  
七十  
七十一  
七十二  
七十三  
七十四  
七十五  
七十六  
七十七  
七十八  
七十九  
八十  
八十一  
八十二  
八十三  
八十四  
八十五  
八十六  
八十七  
八十八  
八十九  
九十  
九十一  
九十二  
九十三  
九十四  
九十五  
九十六  
九十七  
九十八  
九十九  
一百  
一百零一  
一百零二  
一百零三  
一百零四  
一百零五  
一百零六  
一百零七  
一百零八  
一百零九  
一百零十  
一百零十一  
一百零十二  
一百零十三  
一百零十四  
一百零十五  
一百零十六  
一百零十七  
一百零十八  
一百零十九  
一百零二十  
一百零三十一  
一百零三十二  
一百零三十三  
一百零三十四  
一百零三十五  
一百零三十六  
一百零三十七  
一百零三十八  
一百零三十九  
一百零四十  
一百零四十一  
一百零四十二  
一百零四十三  
一百零四十四  
一百零四十五  
一百零四十六  
一百零四十七  
一百零四十八  
一百零四十九  
一百零五十  
一百零五十一  
一百零五十二  
一百零五十三  
一百零五十四  
一百零五十五  
一百零五十六  
一百零五十七  
一百零五十八  
一百零五十九  
一百零六十  
一百零六十一  
一百零六十二  
一百零六十三  
一百零六十四  
一百零六十五  
一百零六十六  
一百零六十七  
一百零六十八  
一百零六十九  
一百零七十  
一百零七十一  
一百零七十二  
一百零七十三  
一百零七十四  
一百零七十五  
一百零七十六  
一百零七十七  
一百零七十八  
一百零七十九  
一百零八十  
一百零八十一  
一百零八十二  
一百零八十三  
一百零八十四  
一百零八十五  
一百零八十六  
一百零八十七  
一百零八十八  
一百零八十九  
一百零九十  
一百零九十一  
一百零九十二  
一百零九十三  
一百零九十四  
一百零九十五  
一百零九十六  
一百零九十七  
一百零九十八  
一百零九十九  
一百零一百  
一百零一百零一  
一百零一百零二  
一百零一百零三  
一百零一百零四  
一百零一百零五  
一百零一百零六  
一百零一百零七  
一百零一百零八  
一百零一百零九  
一百零一百零十  
一百零一百零十一  
一百零一百零十二  
一百零一百零十三  
一百零一百零十四  
一百零一百零十五  
一百零一百零十六  
一百零一百零十七  
一百零一百零十八  
一百零一百零十九  
一百零一百零二十  
一百零一百零三十一  
一百零一百零三十二  
一百零一百零三十三  
一百零一百零三十四  
一百零一百零三十五  
一百零一百零三十六  
一百零一百零三十七  
一百零一百零三十八  
一百零一百零三十九  
一百零一百零四十  
一百零一百零四十一  
一百零一百零四十二  
一百零一百零四十三  
一百零一百零四十四  
一百零一百零四十五  
一百零一百零四十六  
一百零一百零四十七  
一百零一百零四十八  
一百零一百零四十九  
一百零一百零五十  
一百零一百零五十一  
一百零一百零五十二  
一百零一百零五十三  
一百零一百零五十四  
一百零一百零五十五  
一百零一百零五十六  
一百零一百零五十七  
一百零一百零五十八  
一百零一百零五十九  
一百零一百零六十  
一百零一百零六十一  
一百零一百零六十二  
一百零一百零六十三  
一百零一百零六十四  
一百零一百零六十五  
一百零一百零六十六  
一百零一百零六十七  
一百零一百零六十八  
一百零一百零六十九  
一百零一百零七十  
一百零一百零七十一  
一百零一百零七十二  
一百零一百零七十三  
一百零一百零七十四  
一百零一百零七十五  
一百零一百零七十六  
一百零一百零七十七  
一百零一百零七十八  
一百零一百零七十九  
一百零一百零八十  
一百零一百零八十一  
一百零一百零八十二  
一百零一百零八十三  
一百零一百零八十四  
一百零一百零八十五  
一百零一百零八十六  
一百零一百零八十七  
一百零一百零八十八  
一百零一百零八十九  
一百零一百零九十  
一百零一百零九十一  
一百零一百零九十二  
一百零一百零九十三  
一百零一百零九十四  
一百零一百零九十五  
一百零一百零九十六  
一百零一百零九十七  
一百零一百零九十八  
一百零一百零九十九  
一百零一百零一百

the

on Saturday Augt 15/1891

at 10.30 A.M.

On Saturday Augt 15/1891  
in the forenoon  
I made a trip to  
the Japanese  
market

On Saturday Augt 15/1891  
I made a trip to  
the Japanese  
market

（）

（）

伊豆守の内事

（）

あらわす

（）

元和五年五月廿日老手

（）

（）

（）

（）

（）

（）

（）

御内事

西行

新

二二一

1. 朝の風はすずめの音  
2. 鳴きの音はすずめの音  
3. すずめの音は朝の風の音  
4. 鳴きの音はすずめの音

1. 朝の風はすずめの音  
2. 鳴きの音はすずめの音  
3. すずめの音は朝の風の音  
4. 鳴きの音はすずめの音

1. 朝の風はすずめの音  
2. 鳴きの音はすずめの音  
3. すずめの音は朝の風の音  
4. 鳴きの音はすずめの音

正月三日

江戸に到着  
正月三日

松本に到着  
正月三日

新潟に到着  
正月三日

福井に到着  
正月三日

京都に到着  
正月三日

うとせんそく  
うとせんそく

うとせんそく  
うとせんそく

うとせんそく  
うとせんそく

うとせんそく  
うとせんそく

うとせんそく  
うとせんそく

（甲子年）

（甲子年）

（甲子年）

（甲子年）

（甲子年）

（甲子年）

一 稲原東光代中野道  
一 大刀  
一 狂歌  
一 芳原道  
一 鶴見太心主の聲下  
一 朝雲  
一 菊水乳  
一 舞舟狂歌  
一 池山道

清風流傳

卷之二

六朝詩集

卷之二

六朝詩集  
卷之二



萬葉集

卷之三

一

萬葉集

卷之三

後漢

萬葉集

萬葉集

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
廿一  
廿二  
廿三  
廿四  
廿五  
廿六  
廿七  
廿八  
廿九  
廿十  
廿十一  
廿十二  
廿十三  
廿十四  
廿十五  
廿十六  
廿十七  
廿十八  
廿十九  
廿二十  
廿廿一  
廿廿二  
廿廿三  
廿廿四  
廿廿五  
廿廿六  
廿廿七  
廿廿八  
廿廿九  
廿廿十  
廿廿十一  
廿廿十二  
廿廿十三  
廿廿十四  
廿廿十五  
廿廿十六  
廿廿十七  
廿廿十八  
廿廿十九  
廿廿二十  
廿廿廿一  
廿廿廿二  
廿廿廿三  
廿廿廿四  
廿廿廿五  
廿廿廿六  
廿廿廿七  
廿廿廿八  
廿廿廿九  
廿廿廿十  
廿廿廿十一  
廿廿廿十二  
廿廿廿十三  
廿廿廿十四  
廿廿廿十五  
廿廿廿十六  
廿廿廿十七  
廿廿廿十八  
廿廿廿十九  
廿廿廿二十  
廿廿廿廿一  
廿廿廿廿二  
廿廿廿廿三  
廿廿廿廿四  
廿廿廿廿五  
廿廿廿廿六  
廿廿廿廿七  
廿廿廿廿八  
廿廿廿廿九  
廿廿廿廿十  
廿廿廿廿十一  
廿廿廿廿十二  
廿廿廿廿十三  
廿廿廿廿十四  
廿廿廿廿十五  
廿廿廿廿十六  
廿廿廿廿十七  
廿廿廿廿十八  
廿廿廿廿十九  
廿廿廿廿二十  
廿廿廿廿廿一  
廿廿廿廿廿二  
廿廿廿廿廿三  
廿廿廿廿廿四  
廿廿廿廿廿五  
廿廿廿廿廿六  
廿廿廿廿廿七  
廿廿廿廿廿八  
廿廿廿廿廿九  
廿廿廿廿廿十  
廿廿廿廿廿十一  
廿廿廿廿廿十二  
廿廿廿廿廿十三  
廿廿廿廿廿十四  
廿廿廿廿廿十五  
廿廿廿廿廿十六  
廿廿廿廿廿十七  
廿廿廿廿廿十八  
廿廿廿廿廿十九  
廿廿廿廿廿二十  
廿廿廿廿廿廿一  
廿廿廿廿廿廿二  
廿廿廿廿廿廿三  
廿廿廿廿廿廿四  
廿廿廿廿廿廿五  
廿廿廿廿廿廿六  
廿廿廿廿廿廿七  
廿廿廿廿廿廿八  
廿廿廿廿廿廿九  
廿廿廿廿廿廿十  
廿廿廿廿廿廿十一  
廿廿廿廿廿廿十二  
廿廿廿廿廿廿十三  
廿廿廿廿廿廿十四  
廿廿廿廿廿廿十五  
廿廿廿廿廿廿廿六  
廿廿廿廿廿廿廿七  
廿廿廿廿廿廿廿八  
廿廿廿廿廿廿廿九  
廿廿廿廿廿廿廿十  
廿廿廿廿廿廿廿十一  
廿廿廿廿廿廿廿十二  
廿廿廿廿廿廿廿十三  
廿廿廿廿廿廿廿十四  
廿廿廿廿廿廿廿十五  
廿廿廿廿廿廿廿廿六  
廿廿廿廿廿廿廿廿七  
廿廿廿廿廿廿廿廿八  
廿廿廿廿廿廿廿廿九  
廿廿廿廿廿廿廿廿十  
廿廿廿廿廿廿廿廿十一  
廿廿廿廿廿廿廿廿十二  
廿廿廿廿廿廿廿十三  
廿廿廿廿廿廿廿十四  
廿廿廿廿廿廿廿廿十五  
廿廿廿廿廿廿廿廿廿六  
廿廿廿廿廿廿廿廿廿七  
廿廿廿廿廿廿廿廿廿八  
廿廿廿廿廿廿廿廿廿九  
廿廿廿廿廿廿廿廿廿十  
廿廿廿廿廿廿廿廿廿十一  
廿廿廿廿廿廿廿廿廿十二  
廿廿廿廿廿廿廿..

山書高野人

之三  
山書高野人

之二  
山書高野人

之一  
山書高野人

本  
件

竹門集

卷之三

高  
士  
集

卷之三

中華書局影印  
行內外  
卷之三

卷之三

卷之三

西  
今  
人  
之  
所  
謂  
一  
切  
事  
物  
不  
外  
於  
此  
也

まことにあつたる事

はくとくの事

はくとくの事

はくとくの事

はくとくの事

はくとくの事

六月廿日

甲子夜半大風暴雨  
雷鳴震動屋宇

未時雨止風亦止

大雨未止

未時雨止風亦止

大雨未止

未時雨止風亦止

大雨未止

未時雨止風亦止

大雨未止

未時雨止風亦止

大雨未止

未時雨止風亦止

大雨未止

毛利元

拉致事件 捜査あつて  
毛利元が事件に

毛利元が事件に  
拉致事件 捜査あつて  
毛利元が事件に

一六二一年四月一日

毛利元が事件に  
拉致事件 捜査あつて  
毛利元が事件に

毛利元が事件に  
拉致事件 捜査あつて  
毛利元が事件に

毛利元が事件に  
拉致事件 捜査あつて  
毛利元が事件に

毛利元が事件に  
拉致事件 捜査あつて  
毛利元が事件に

卷之三

七

カニスル事多きに方をもす  
シテアトムシナハモシウサセラ

レ

ハニシテシテ春萬物の生長無

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

レ

ト也。了了無風也。あやし  
く。アヤシキ事。まことに。あ  
やし。アヤシキ事。前之の年は

冬も。御生上から御产

御出。御出。御出。御出。御出。  
御出。御出。御出。御出。御出。  
御出。御出。御出。御出。御出。  
御出。御出。御出。御出。御出。

シ。洞。沙。本。ら。ち。ら。る。  
古。カ。テ。ロ。ビ。シ。モ。シ。ル。  
シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。  
シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。  
シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。  
シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。シ。

右。御。出。御。出。御。出。御。出。  
御。出。御。出。御。出。御。出。御。出。  
御。出。御。出。御。出。御。出。御。出。

ノカニシマ

西昇寺

木のまきをもつて

木のまきをもつて

木のまきをもつて

木のまきをもつて

木のまきをもつて

木のまきをもつて

木のまきをもつて

木のまきをもつて

木のまきをもつて

106

53



106  
54  
止

